

あなたのオフィスは安全ですか？

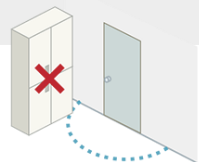
オフィスでできる災害対策

“地震大国”といわれる日本。東日本大震災や阪神淡路大震災は、まだ記憶に新しく、最近では、台風や異常気象による自然災害が毎年のように日本列島を襲っています。もし、作中にそういった災害が起こった場合、会社や社員を守るのか、オフィスでできる対策はないのか…そんな声にお応えして、オフィスでできる災害対策のポイントをまとめました。ぜひ参考にしてください。

避難経路の確保

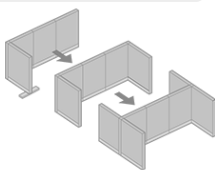
POINT 出入口周辺に溜まりをつくる

避難時に通路が詰まると、人は心理的に不安になり、パニックになりやすくなりますので、入口付近は、できるだけスペースを持たせましょう。また、床にタイルカーペットなど、滑りにくい素材を敷くと、緊急時の避難の際の転倒防止になり、安全です。



POINT パネルの設置

長い直連結を避け、自立力の弱い方向を作らないように、コの字型、L字型、H字型など、安定したレイアウトにします。



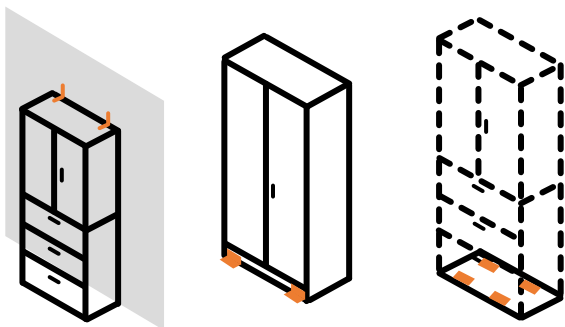
POINT デスクまわりの安全対策

デスク同士の連結や床固定をすることで、横ズレや移動・転倒を抑制します。また、ペンやカッターなど、すべてが凶器に変わり、ケガの原因となりますので、デスクの上も整理整頓を心がけましょう。デスクの下は身を隠せるスペースとなるので、物は置かないようにしましょう。

収納の安全対策

POINT 収納の転倒防止

将来のレイアウト変更に影響の少ない場所であれば、収納を壁や床に固定することをオススメします。壁に固定できない場合は、収納同士を上下・横・背中合わせに連結して、家具自体での転倒防止を図ります。また、収納家具は重いものは下に入れ、バランスを保つことが大切。避難経路やオフィスの中央に転倒・移動するような背の高い家具を置かないようにしましょう。また、人が座る後ろの収納家具は、扉の落下や引き出しの飛び出しなどの危険が多いので、背の低い家具を選びましょう。



POINT 倉庫の安全対策

収納庫や物品棚は床と壁に固定し、上部をスチールのバーでつなぎ“将棋倒し”の防止をはかりましょう。既定の積載質量を守り、棚などから物がはみ出さないようにしましょう。

POINT 専用家具の運用

薬品など、転倒防止や飛び出し防止を施した専用の保管庫に収納し、危険物の散乱を防ぎましょう。扉・引き出しは、使用時以外は閉めておき、ラッチ機能やダイヤル錠などが付いたものはより便利で安全です。



POINT 金庫、コピー機等の対策

キャスター止めを床に置いたり、多少動いても避難通路に影響のない場所に設置。重いものから奥に置きます。(金庫>コピー機>シュレッダー>FAX) ※金庫は必ず床置きにします。



POINT 重量物の安全な設置

重量物の落下や衝突など思わぬ被害を受けます。まずは動かないようにすることが必須です。

- ・テレビは、固定用ベルトで台に固定。
- ・プリンタやパソコンの上に物を置かない + 耐震ストッパーで固定。
- ・キャスター止め + 動きにくい場所に設置



おすすめ

大変な工事不要！カンタン設置♪

転倒防止ユニット「L-FORCE(エルフォース)」

壁面前に設置する収納家具の転倒防止ユニットです。

L-FORCEの免震L型プレートが、しなやかに湾曲し、衝撃を緩和。震度7を連続2回加震※しても倒れない、業界トップクラスの性能です。また、大がかりな工事が不要なので、スピーディーに施工・納品が可能です。



※メーカー試験基準による

窓前の安全

POINT 窓前の収納は低いもので

転倒の際、窓ガラスを破損させる原因となり、オフィス内だけでなく、外部（道路など）へのガラス片の飛散を招き危険です。窓の前に収納庫を設置する場合は、背の低いものを選びます。また、落下物による避難の妨げを防止するため、収納の上にはものを置かないようにしましょう。

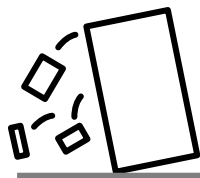
POINT ガラスの飛散防止

収納物が倒れてもガラスが割れないようガラス両開き書庫には、飛散防止フィルムを張るか、強化ガラスを使用します。

重要文書の保護

POINT 重要文書の持ち出し

整理されていない重要書類の山はゴミと同じで役に立ちません。日頃から書類を整理し、守るべき情報資産がどこにあり、どのように管理されているのかを組織として明確しておく必要があります。また、重要なデータはバックアップを取り、金庫や他支店等に保管しておきましょう。



POINT 図面の保存

復旧のために建築図面や技術図面は不可欠です。自社で保有していない場合は、施工業者など保有しているところから入手する必要があります。今一度、図面類がどうなっているかチェックしましょう。また、常に新しい情報に更新しておくことも重要なポイントです。

期間
限定

無料レイアウトキャンペーン 実施強化中!
現場調査(採寸)、現状図面作成…すべてお任せください!

災害時の情報収集

POINT 電源の確保

簡易発電機、もしくは、蓄電池（ソーラータイプ）を備えることで、停電時の明かりはもちろん、携帯電話の充電、パソコンの電源としてもご利用が可能です。



POINT 公共放送

ラジオは貴重な情報源として活躍します。ラジオの備蓄はいざというときに電源がきれていたり、壊れていたりして使えないということがないように確認しておく必要があります。



POINT 通信手段の確保

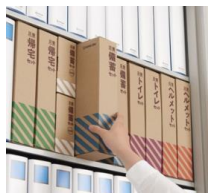
まず、重要になるのは社員の安否確認や拠点の被害状況、コンピューターシステムの稼働状況、関係官庁、同業各社からの情報など、各種機関の情報の把握です。通信手段は複雑かつ何層にもわたって準備しておく必要があります。※通信手段の例：固定電話、携帯電話、FAX、Eメール（パソコン/携帯）、衛星携帯電話、TV会議システムなど

POINT 代替えオフィス機能の整備

「本社等重要居権の機能の確保」は事業継続の観点から極めて重要な要素です。本社の中枢機能が破壊されることまで想定した対策の検討が必要です。

災害備蓄

POINT 保管のしやすさ



品質保持期限が5~6年など長期間で、書庫や引き出しに収納しやすく、メンテナンスしやすい災害対策セットがおススメ。個人でも管理できるので、必要なときには、素早い対応が可能です。



災害備蓄セットⅡ (BCS-200) (品質保持期限6年)

- セット内容
- ・保存水 (500ml) …2本
- ・ポケットティッシュ …2個
- ・クッキー (3本入) …1袋
- ・ご飯 (スプーン付) …2食
- ・非常用簡易トイレ …5個
(汚物収納袋+抗菌性凝固剤)

お問い合わせ

 株式会社 オーニシ

〒812-0016
福岡市博多区博多駅南5丁目15番32号
TEL:(092)451-1216 / FAX:(092)451-4348

担当営業